

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	県央県土整備事務所	氏名	富岡泰之
派遣先 団体名	邑南町公民館連絡協議会		

1 研修の日時

(1) おおなんサマーボランティアリーダー研修

7月27日（水）8:30～28日（木）12:00（1泊2日）

(2) NECレッドロケッツバレー教室

8月2日（火）8:30～17:15、8月3日（水）8:30～17:15

(3) チャレンジ2011歩こう広島まで

8月4日（木）11:00～8月5日（金）12:00（1泊2日）

2 研修の内容

はじめに

邑南町では、平成16年10月1日の合併を機に、町内12の公民館すべてに数名の公民館主事（町職員）を配置し、それぞれの地域の特徴を活かした社会教育等を行っておられます。

今回の職員短期派遣においては、全公民館の連絡会である邑南町公民館連絡協議会、邑南町教育委員会及び邑南町社会教育協議会等が開催される夏休みの3イベントのお手伝いをさせていただきました。

(1) 「おおなんサマーボランティアリーダー研修」

邑南町では、小中学生を対象に夏休みに企画する様々な「サマーボランティア」活動を通じて、子ども達が福祉やボランティア活動などを実感する場として、「おおなんサマーボランティアリーダー研修」が開催されています。

今年は小学5、6年生を対象に1泊2日の日程で開催されました。

東日本大震災が発生したことから、今回は、防災教育に主眼が置かれ、活動初日は、日赤救命員の指導で救急方法体験や、宮城県でボランティアとして活動された公民館主事の方の体験談を聞き、さらに被災体験として、公民館に断熱マット、毛布を使って宿泊するなどの活動を行いました。

2日目は、地区の集落活性化グループが作成した邑南町オリジナルかるたを使ったかるた大会や、そのかるたに出てくる町内の旧跡を徒歩で回るなどの活動を行いました。

私は、研修運営のスタッフとして参加させていただきました。担当業務は、子ども達の班担当であり、児童6名と共に様々な活動に参加し、公民館にも宿泊させていただきました。



(2) 「NECレッドロケッツバレー教室」

邑南町では、以前にVリーグ所属のプロバレーボールチームである「NECレッドロケッツ」が町内で合宿を行ったことを縁として、以降、毎年同チームの選手を招き、小～高校生を対象にバレーボール教室を開催されています。

今年は、初日は小学生を、2日目は中高校生を対象として、2日間にわたって開催されました。

練習は、各日ともたっぷり時間をかけて行われました。練習もよく練られており、遊びを交えた生徒を飽きさせない内容であり、両日とも最後は生徒とレッドロケッツとの試合も行われ、一日中生徒からよく声が出ていました。

さらに、練習後にはサイン会、写真撮影なども行われ、生徒、保護者、指導者いずれにとっても非常に有意義な教室になったのではないかと感じました。

私は、教室運営のスタッフとして参加させていただきました。会場設営、受付やボール拾いをしながら、その合間に元全日本の杉山祥子選手や、現全日本の選手等をお会いすることができ、また、そのプレーも間近でみるのができたんですが、なんだか、すべてにとっても圧倒されました。



(3) 「チャレンジ2011歩こう広島まで」

「歩こう広島まで」は、1945年8月6日の広島への原爆投下で被爆した人たちが邑南町へ逃げてきた道のりを逆にたどることにより追体験し、平和を考えるきっかけにしようとする行事です。

この行事は、町民でつくる「瑞穂平和を考える会」などが主催し、今年ですでに24回目となります。

今年は、例年に比して中高生の参加が多く、下は小学生から上は60歳超の方まで合計42名もの参加者がありました。

行程は、邑南町内の公民館を4日正午に出発し、北広島町、安芸高田市を経て、広島市内で仮眠を取り、翌5日午前9時頃に無事に全行程70キロを歩ききり、原爆ドーム前に到着しました。

平和記念公園では、地元の児童やお年寄りが手作りした千羽鶴を貞子像に奉納し、中高生については、さらに、原爆資料館の見学も行いました。

私は、同行スタッフとして、参加者の方と共に同じ行程を歩かせていただきました。

結論からいうと、これまで私も県職員として色々な職場で色々な仕事をさせていただきましたが、この仕事が、一番辛かった仕事No.1に見事にランキングされました。炎天下の中を歩き、2～3時間ほどの仮眠時間の中で70キロもの距離を歩くのは非常に辛いです。

その一方で、参加者の方が、夏の暑さにも負けず、事故や病気も発生せず、ゴール後も皆さんお元気で、大きく遅れる方も生じることなくゴールできたのは、給水や救護、安全配慮、先導など行い、サポートを十二分に実施された邑南町職員の方のご尽力に寄るところが非常に大きいと感じました。

少しずつ少しずつ一行の先回りをしながら、参加者や周囲の交通事情などに配慮することは非常なご苦勞であったと思われました。



③ 研修の感想

(研修の全般的な感想、各団体での活動の意義や協働に対する感想(研修前後における意識の変化)等について記入してください。)

私は、今回はじめて職員短期派遣研修に参加しました。

私が、これまで私が職務として住民の方と接したのは、ほとんどすべてが窓口対応、業者対応のケースに限られていますが、今回は、非常に多数のそれも年齢層の多様な方々と直接関わる機会がありました。

住民の方と直接接するという事は、自分の行動はすべて住民の方に見られているということになります。

とすれば、これまで事務所内で県職員に囲まれて業務を行っていた時以上に、個人が自己の責任のもとに行動することが求められると感じました。

行政の実践の場において、短期間ではありますが業務を行うことができたのは、通常のデスクワークでは体験できない経験ができたと感じています。

また、私以外にも、今後できるだけ多くの職員が是非短期派遣研修に参加してもらいたいと感じました。

派遣先である邑南町公民館連絡協議会については、平成16年10月以降、数名の主事を配置し、様々な催しを開催し、また、各公民館ごとに紙面を工夫した公民館便りを毎月発行するなど積極的な活動を行っていらっしゃいました。

その結果、私が公民館におじゃましている間にも感じられましたが、公民館を使用の方が多く見受けられる、多様な年齢層の方がイベントに参加するなどの効果が出ていました。

全国的に少子高齢化、過疎化の進捗によって、地域自治能力の低下が見られる中であって、邑南町にあっては、公民館が、今も、また今後も社会教育の場であると同時に、地域のコミュニティ活動の場として重要な役割を果たしていくのではないかと感じられました。

最後になりましたが、今回の研修を快く引き受けてくださり、加えて、お忙しい中、ご指導をいただきました邑南町の関係者の皆様に深く感謝します。

大変ありがとうございました。

④ その他特記事項

(※今後の研修実施に当たっての改善点、留意しておくべきことなどがあれば記入してください。)

派遣元職場の業務の都合もあると思うが、派遣期間が1週間ほどというのは、派遣先の実態を学ぶには短すぎるのではないかと思います。

いわゆる“お客さん”の状況が終わる前に、派遣研修が終わってしまったのではないかと感じました。

(注1) 研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。

(注2) 研修期間(7月～3月)中、報告会を開催します。